

2004年3月期
決算説明会

2004.6.9

証券銘柄コード 2773
株式会社ミューチュアル

MUTUAL

会社概要

経営理念

社 是

私たちは、社業を通じて、社会の発展に寄与し「共存共栄」をモットーとしてお取引先・株主・社員の豊かな未来を目指します。

ミューチュアル = “ 互いに協力する共存の精神 ”

お取引先の立場になって考え、行動し多彩なユーザー・ニーズを満たすことで共に発展・繁栄する事を喜びとしております。

社員一人一人が自らの人格を磨き、助け合い力を合わせて会社の発展に尽くすと共に社会に貢献する事で企業としての存在価値を見出し、又各人の幸福を追求してゆくことを念じているのであります。

会社概要

社名	株式会社ミューチュアル
会社設立	昭和24年(1949年)2月14日
代表者	代表取締役会長 三浦 隆 代表取締役社長 三浦 浩一
本社	大阪市北区天神橋七丁目1番10号
資本金	6億6,970万円
売上高	2004年3月期 連結売上高 98.1億円 (2004年3月期 単体売上高 96.6億円)
社員数	102名
事業内容	主として、医薬品業界、化粧品業界向けの包装関連設備を中心とした産業機械等の改良・製造・販売のほか、工業用ダイヤモンドの販売、包装資材の製造・販売等

事業内容

専門分野に特化した

技術商社

“ Made in International ”



医薬品業界

化粧品業界

食品業界

事業概要

高速ドリンク包装ライン



シリング包装ライン



大阪技術センター



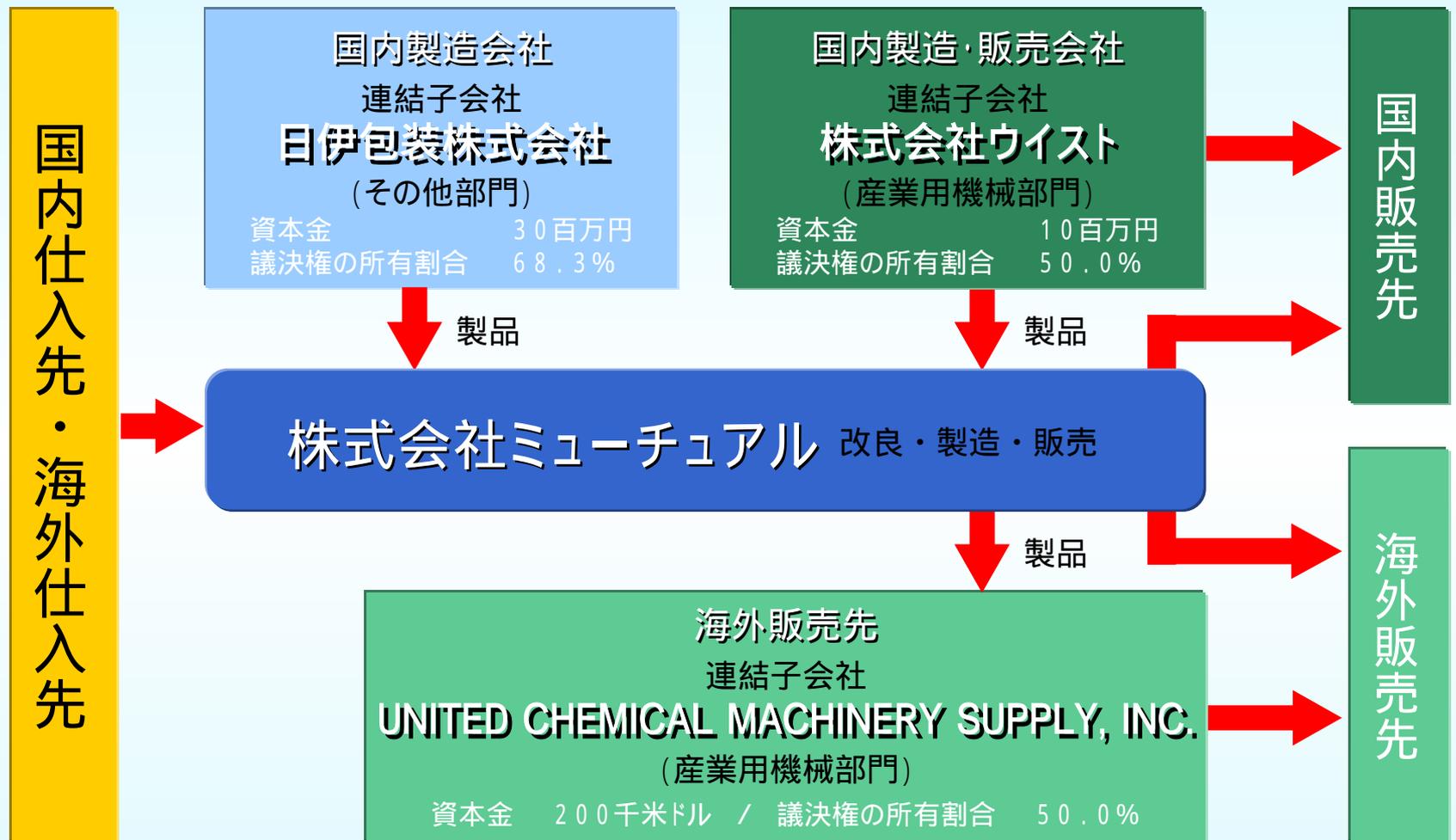
東京技術センター



エンジニアリング部



グループ概要



2004年3月期

決算概況

当期の営業概況

当社(単体)は、売上高9,665百万円(前年同期比3.5%増)、
経常利益852百万円(同25.1%増)、
当期純利益489百万円(23.7%増)
と好調であった他、国内の連結子会社も堅調に推移

一方、米国の連結子会社
UNITED CHEMICAL MACHINERY SUPPLY, INC. は
売上高666百万円(前年同期比59.6%減)、
経常損失19百万円(前年同期は281百万円の経常利益)、
当期純損失20百万円(前年同期は162百万円の純利益)

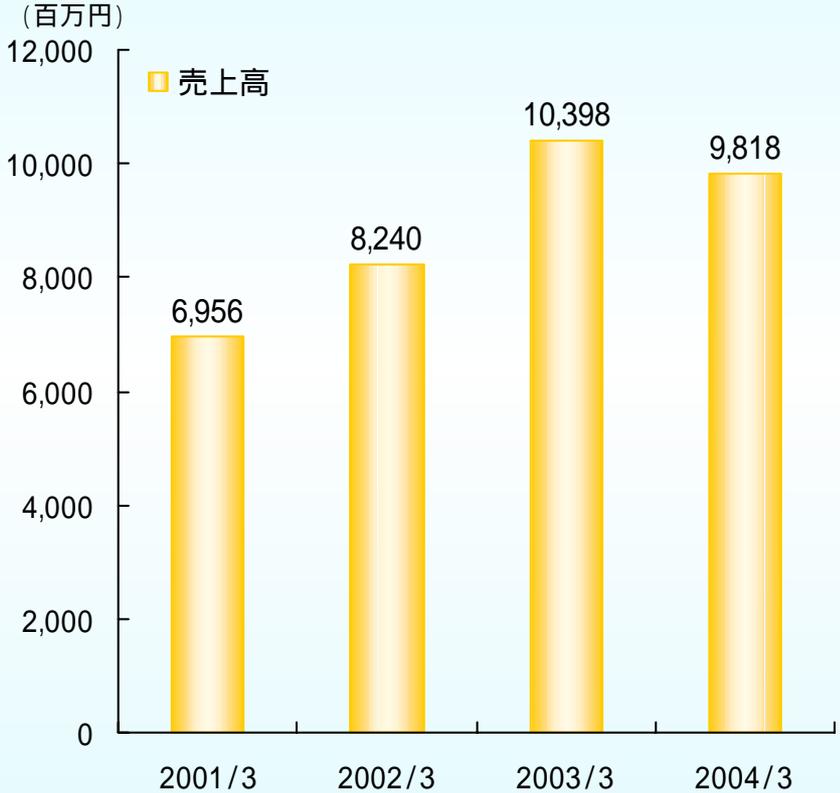
この結果、連結では売上高9,818百万円(前年同期比5.6%減)、
経常利益922百万円(同5.0%減)、
当期純利益500百万円(12.1%増)

要約損益計算書(連結)

(単位:百万円)

	2003/3	構成比	2004/3	構成比	増減額	増減率
売上高	10,398	100.0%	9,818	100.0%	580	5.6%
売上原価	7,917	76.1%	7,524	76.6%	392	5.0%
売上総利益	2,481	23.9%	2,293	23.4%	188	7.6%
販売費及び一般管理費	1,543	14.9%	1,514	15.5%	28	1.8%
営業利益	938	9.0%	778	7.9%	159	17.0%
営業外収益	58	0.6%	176	1.8%	117	200.2%
営業外費用	26	0.3%	32	0.3%	6	25.9%
経常利益	970	9.3%	922	9.4%	48	5.0%
特別利益	25	0.3%	31	0.3%	5	22.6%
特別損失	53	0.5%	1	-	51	97.1%
当期純利益	446	4.3%	500	5.1%	53	12.1%
一株当たり当期純利益(円)	90.93		102.76		11.83	13.0%
一株当たり配当金(円)	10.00		15.00		5.00	50%

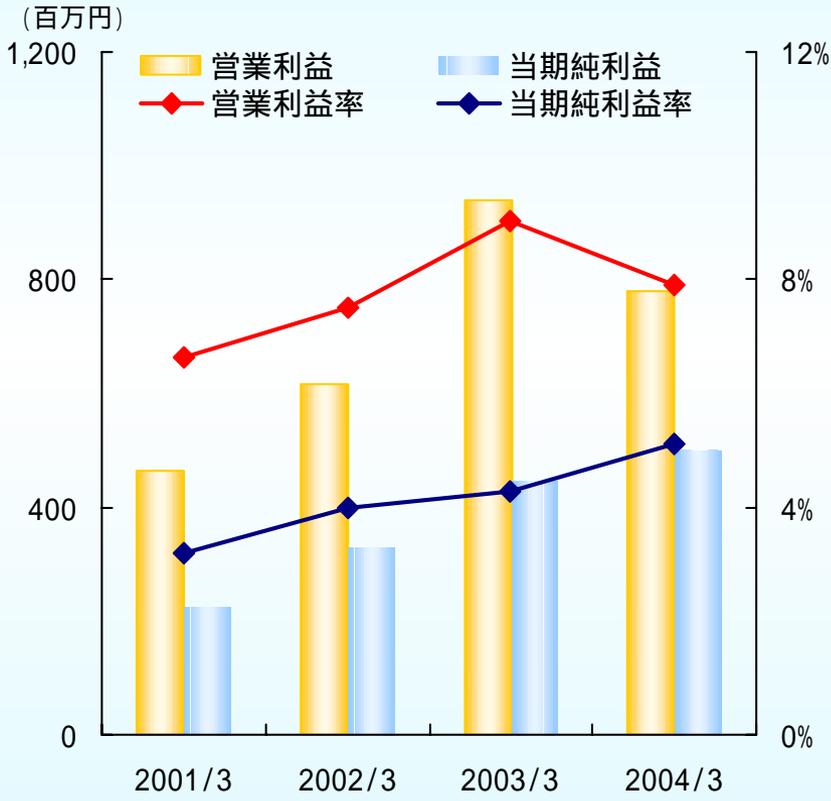
売上高の推移(連結)



単体では、9,341百万円から、9,665百万円へ3.5%の増収だがUMIの減収により、連結売上高は減収

前期は大型案件の売上が目立ったが、当期は中規模程度の案件の件数が増加

営業利益(率) / 当期純利益(率)の推移



UMIの減収は利益率の低下となる

単体の利益率が19.5%から20.3%に向上

販管費は1.8%減少

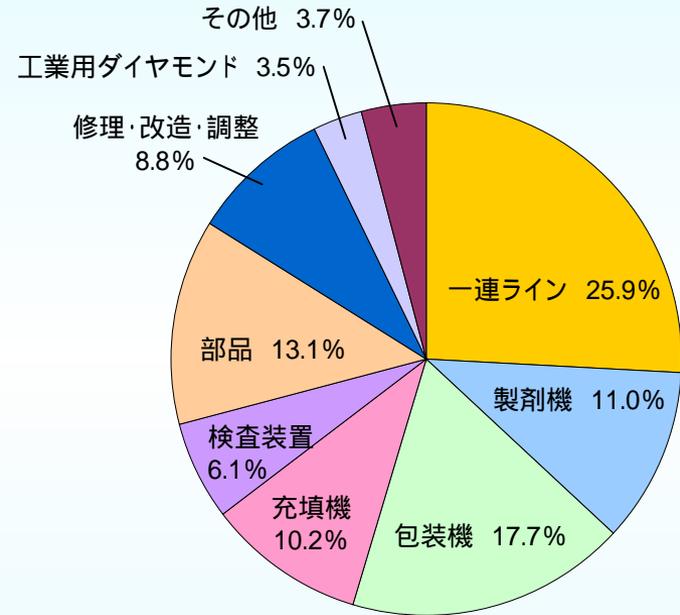
セグメント別売上構成比

部門 / 機種別売上構成比の推移

(単位: %)

機 種	2002/3	2003/3	2004/3
一連ライン	16.7	32.7	25.9
製剤機	21.7	17.1	11.0
包装機	20.1	11.3	17.7
充填機	12.0	15.2	10.2
検査装置	3.5	1.8	6.1
部品	11.0	9.5	13.1
修理・改造・調整	7.6	6.7	8.8
工業用ダイヤモンド	2.9	2.9	3.5
その他	4.5	2.9	3.7
合計(全体)	100	100	100

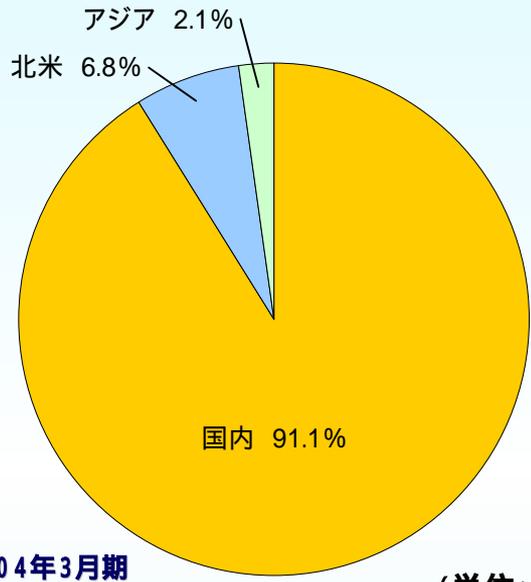
品目別販売構成比



2004年3月期

セグメント別売上構成比

地域別構成比

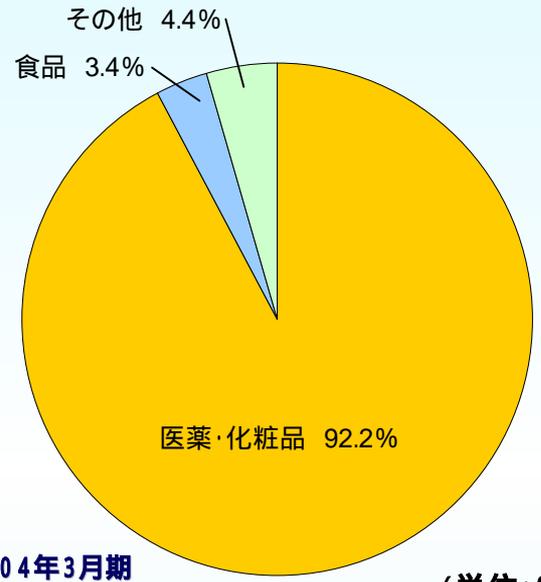


2004年3月期

(単位: %)

地 域	2002/3	2003/3	2004/3
国 内	77.3	82.8	91.1
北 米	16.5	15.9	6.8
ア ジ ア	6.2	1.3	2.1
合 計	100	100	100

品目別販売構成比



2004年3月期

(単位: %)

業 界	2002/3	2003/3	2004/3
医薬・化粧品	96.9	93.4	92.2
食 品	0.8	2.3	3.4
その他	2.3	4.3	4.4
合 計	100	100	100

要約貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

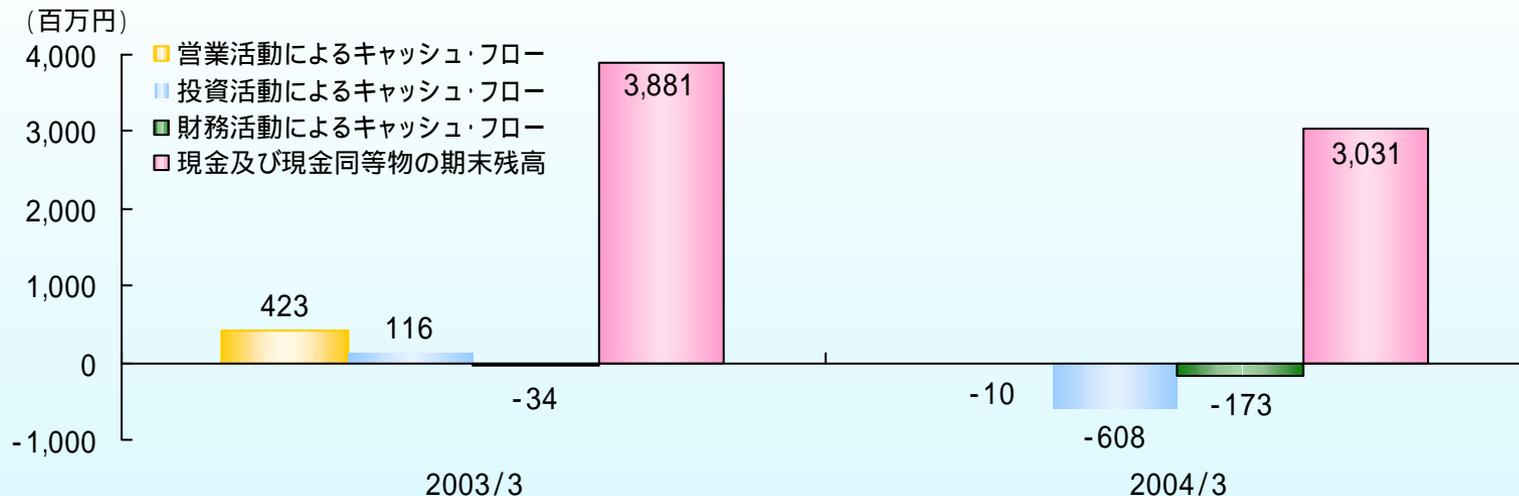
	2003/3	構成比	2004/3	構成比	増減額	増減率
現金及び預金	4,065		3,215		849	20.9%
受取手形及び売掛金	1,520		3,205		1,684	110.9%
たな卸資産	1,262		1,063		199	15.8%
その他	1,110		1,190		79	7.2%
流動資産計	7,959	74.3%	8,674	72.5%	714	9.0%
有形固定資産	715		756		40	5.7%
無形固定資産	24		26		1	8.3%
投資その他の資産	2,010		2,507		496	24.7%
固定資産計	2,751	25.7%	3,290	27.5%	538	19.6%
資産合計	10,710	100.0%	11,964	100.0%	1,253	11.7%
支払手形及び買掛金	1,369		2,542		1,172	85.6%
短期借入金	654		100		554	84.7%
その他	1,478		1,271		207	71.7%
流動負債計	3,502	32.7%	3,914	32.7%	411	11.8%
固定負債	896	8.4%	835	7.0%	60	6.8%
負債合計	4,398	41.1%	4,749	39.7%	350	8.0%
少数株主持分	599	5.6%	563	4.7%	35	6.0%
資本合計	5,712	53.3%	6,651	55.6%	938	16.4%
負債及び資本合計	10,710	100.0%	11,964	100.0%	1,253	11.7%

要約キャッシュ・フロー計算書(連結)

(単位:百万円)

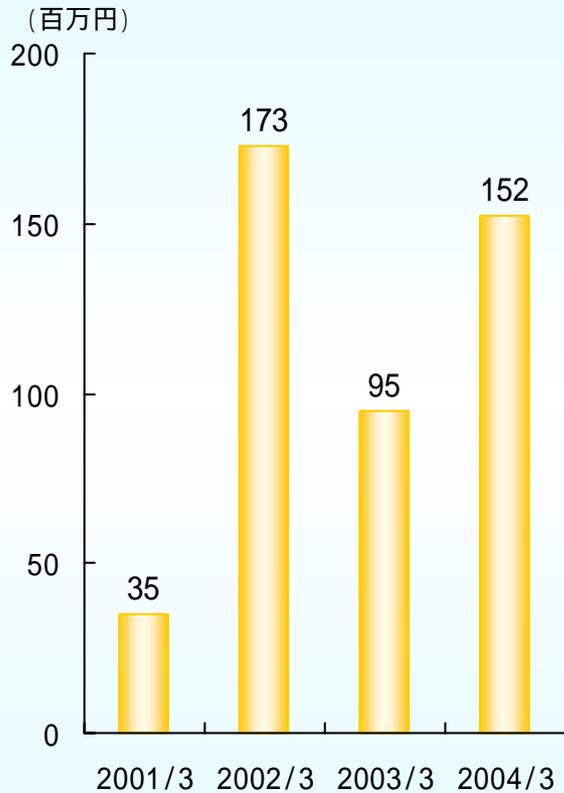
	2003/3	2004/3
営業活動によるキャッシュ・フロー	423	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	116	608
財務活動によるキャッシュ・フロー	34	173
現金及び現金同等物の期首残高	3,421	3,881
現金及び現金同等物の期末残高	3,881	3,031

キャッシュ・フローの推移

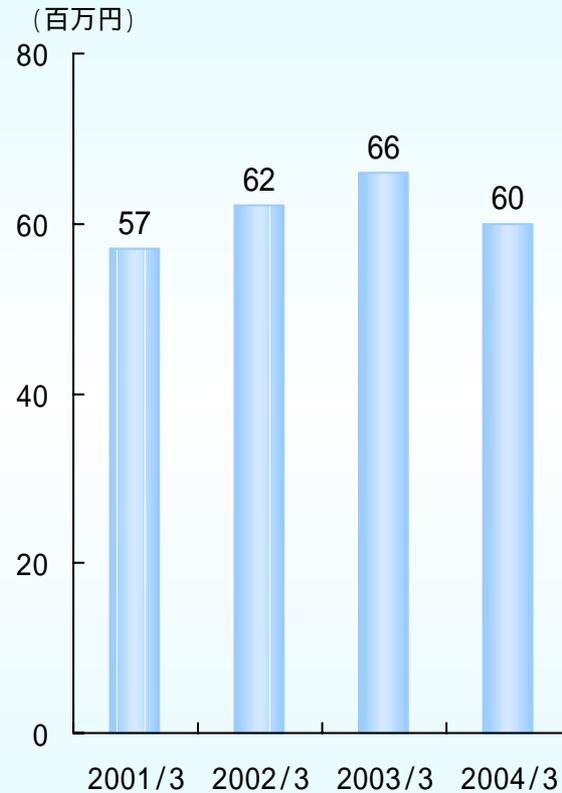


設備投資 / 減価償却額 / 研究開発費

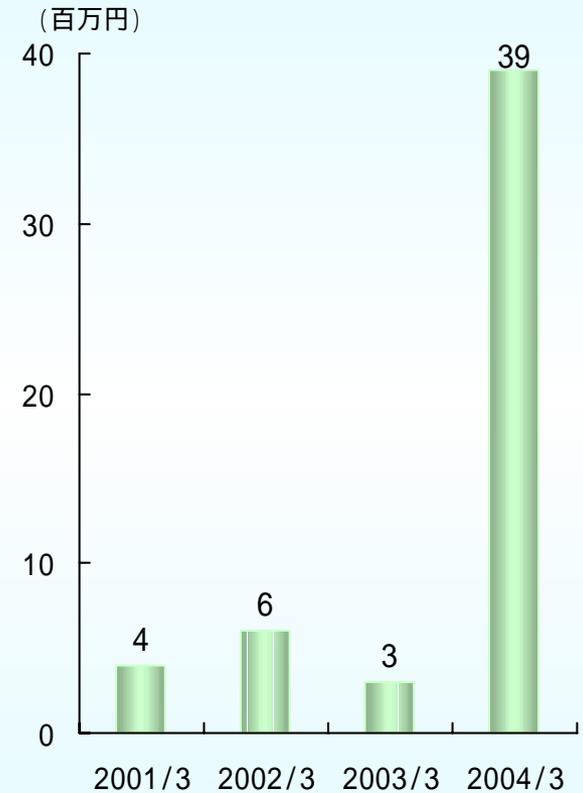
設備投資額の推移



減価償却額の推移



研究開発費の推移



2005年3月期の見通し(連結)

(単位:百万円)

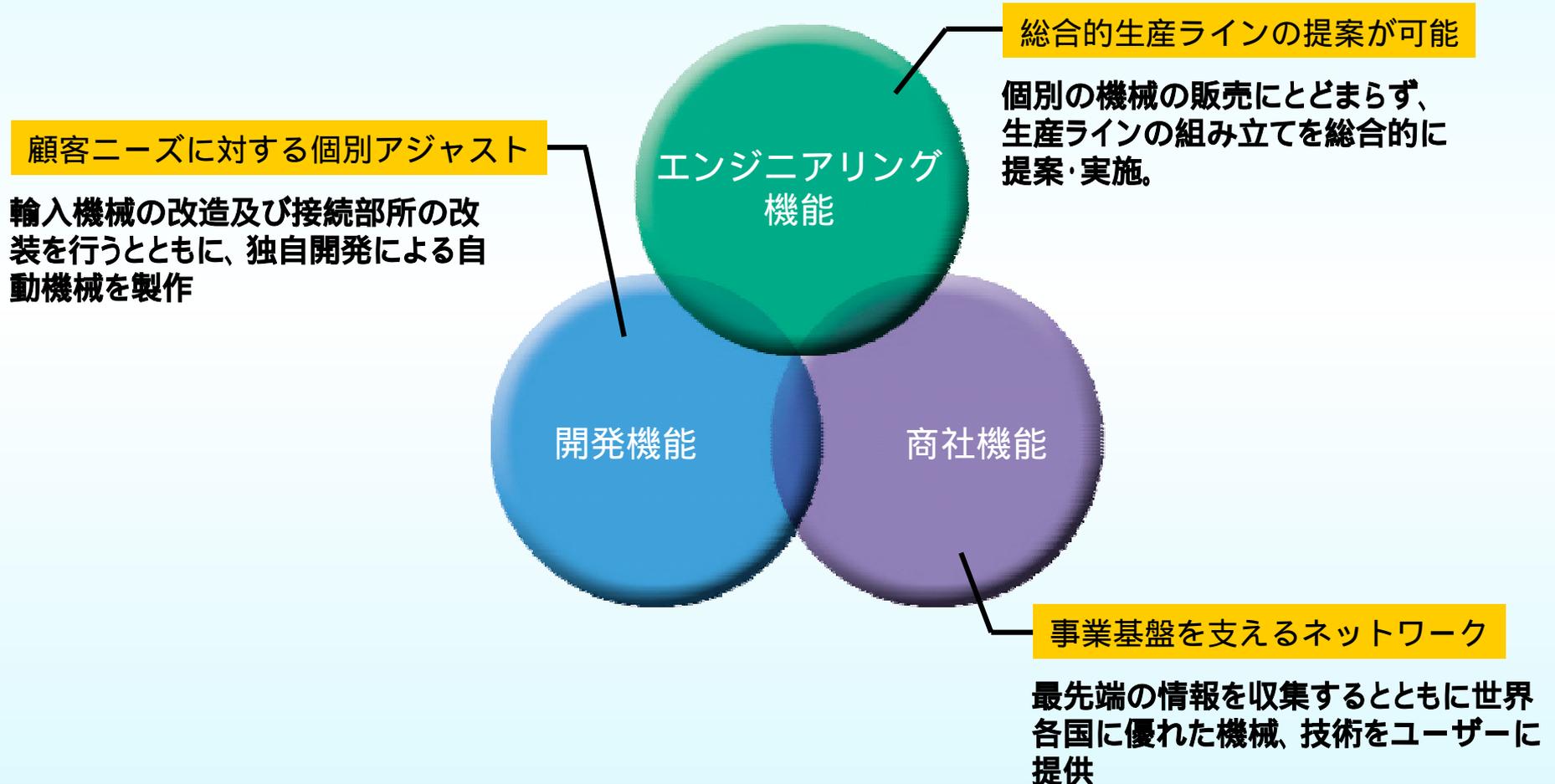
	2004年3月期 (実績)	2005年3月期(予想)		
		金額	増減額	増減率
売上高	9,818	11,281	1,463	14.9%
営業利益	778	1,086	308	39.6%
経常利益	922	1,107	185	20.1%
当期純利益	500	565	65	13.0%

2004年3月期末 受注残高 6,310百万円 (前年同期比26.4%増)

中期的な
基本戦略

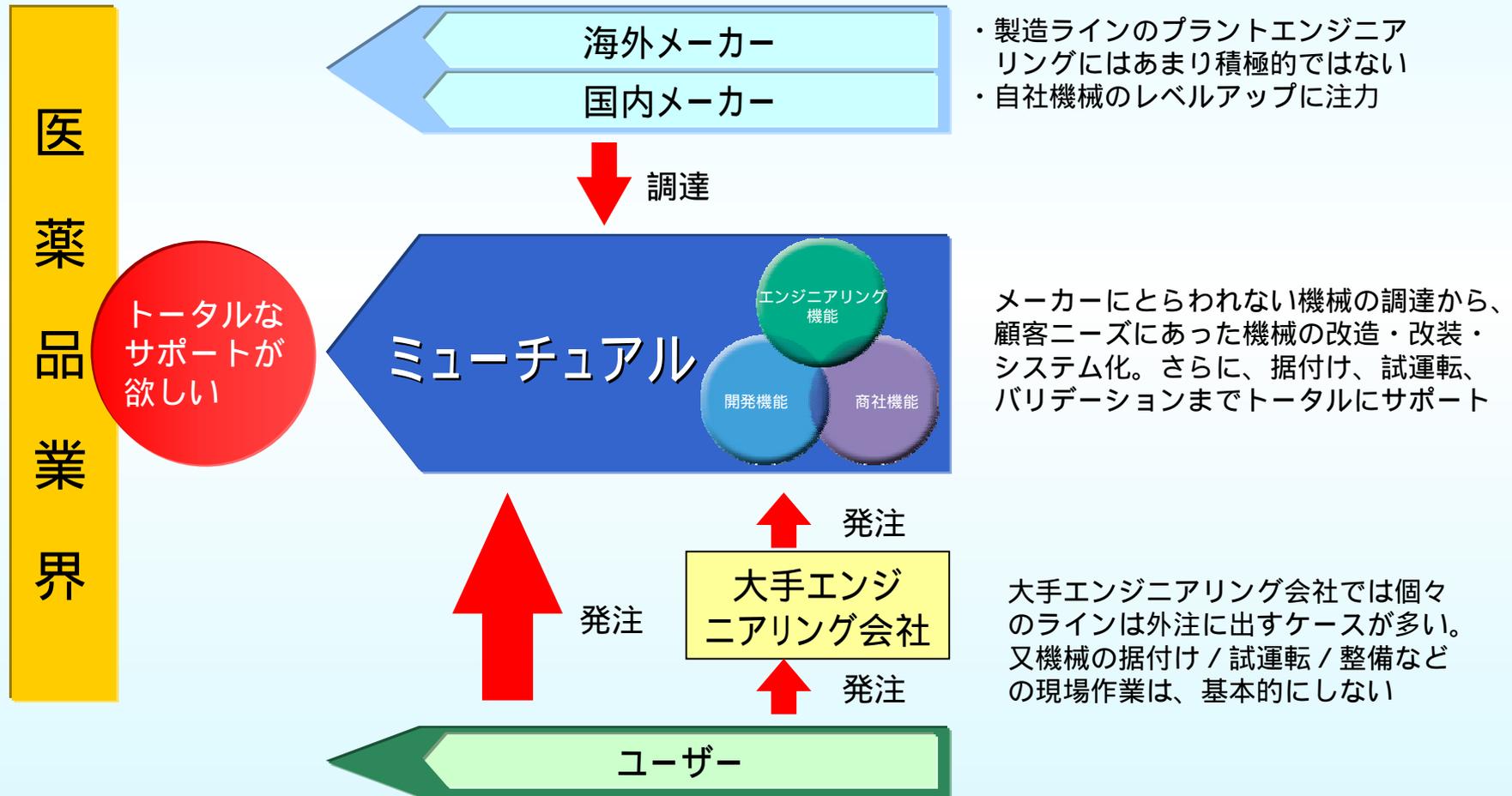
当社の特長的機能

3つの機能の総合力で多様な顧客ニーズに応える



当社のポジショニング

決め細やかなトータルサポートが可能な唯一の業態



市場動向

薬事法改正(2005年)

薬事法改正により、

- ・製・販分離が可能(大手企業)
- ・中堅製薬メーカーは製造受託を狙う

研究開発へのシフト

設備投資の活発化

バリテーションの浸透

社会的傾向として品質管理がクローズアップ

- ・米国FDAの基本概念「バリテーション」が広まる

国内においても機械設備をする時の必須条件化へ

使用者の立場に立った製剤・包装

供給側の論理ではなく、使用者側の観点として

- ・皮膚吸収か肺吸収などの薬の開発
- ・カレンダー・パック等の新しい包装形式

新しい機械が必要

市場全体は
追い風

当社の総合力が
活きる市場

医薬品業界での深耕によるシェア拡大

一連ラインの受注拡大



高付加価値ビジネスの確立

海外市場への積極的参入



マーケットの拡大

メンテナンス分野の充実



顧客満足度の向上

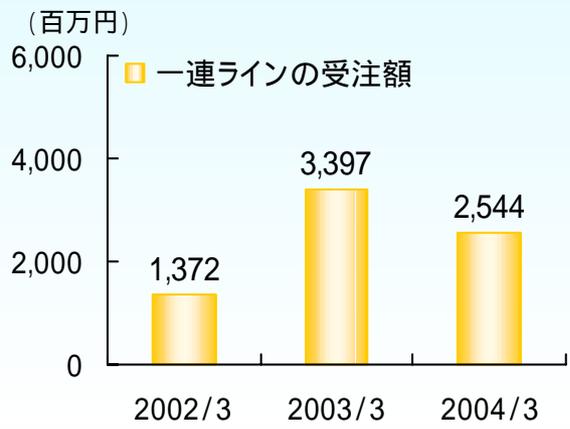
一連ラインの受注拡大

バリデーションサポートのアピール

生産ラインの設計時からの提案強化

スタッフのさらなる充実

一連ラインの受注額(構成比)推移



高速ドリンク包装ライン



世界的に需要が高まっている高精度検査機
を中心に展開

(百万円)

	2002/3	2003/3	2004/3
検査機械	291	193	598

国内メーカーの優れた機械を海外に輸出

海外メーカーとのタイアップを強化
・BREVETTI CEA社との提携

海外ネットワークの整備

ブレベッティ社との提携

Japanese & European
Commercial Cooperation



K32 (シリンジ・バイアル・アンプルの外観異物検査機)



総合的生産ラインのアウトソーシングに対応

エンジニアリング機能を活用した
フォロー体制の拡充

顧客満足度向上のため
サービス部門の更なる充実

メンテナンス風景



お客様とのコミュニケーション強化

当社技術センターにおける プライベートショー

(技術センター会場)



(技術セミナー会場)



日本国際包装機械展 JAPAN PACK 2003

(ジャパンパック展示会場)



(ジャパンパック展示会場)

